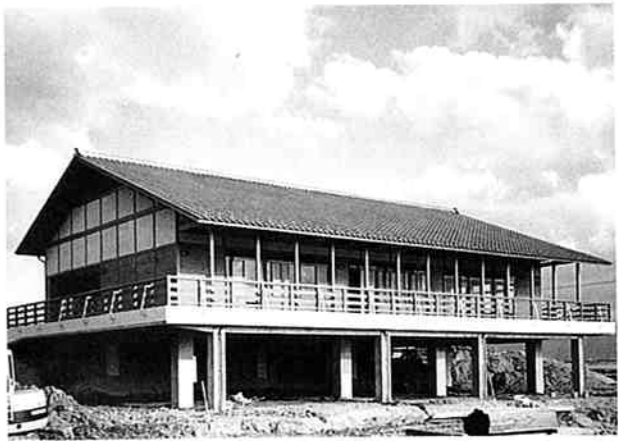


4 福島潟の宿泊施設について



水の公園福島潟が整備されて以来、来園者の強い要望であった宿泊施設が今年十月三十一日から利用できることになりました。この宿泊施設は、福島潟休憩管理棟を改造して、和室、洋室各二部屋と厨房、浴室などを備え、食事は利用者が自炊をする形式です。福島潟を訪れる方や子供会、学校などの行事に大いに利用していただきたいと考えております。

また、施設の名称については、市民公募により多数いただいた名称を参考にし、潟の豊かな恵みの「菱」と潟のさわやかな「風」を組み合わせた「菱風荘」とすることにしました。

5 遊水館の利用状況について



遊水館の使用料については、今年四月から特別料金の適用を廃止しましたが、市民の健康志向の高まりと猛暑が続いた影響で、昨年以上の入場者となつていきます。

今年度から取り組んだ幼児の水泳教室には、七月末までに市内の幼稚園、保育園合わせて十三園から園児一、〇五九人の参加がありました。この水泳教室は、学校の夏休みなどにより一般利用者が増加する八月を除外し、九月から再開しています。

また、月一回開催している中高年者のための水中健康教室には、毎回四十人以上の方の参加があり、インストラ

クターによる水中運動の実演と講演、保健婦による水中運動を取り入れた健康指導などを実施しています。

今後も、健康増進のために遊水館を利用する方が増えるよう努力していきます。

6 市立図書館の開館記念事業なごう

図書館の工事も順調に進んでおり、市民待望の図書館が十一月一日に開館します。当日は、公募により選ばれた市民をはじめ、市議会議員、設計者である安藤忠雄氏、図書館関係者などをお招きし、開館記念式典を開催いたします。

開館記念事業としては、十一月には図書館の建設経過などを辿った図書館プロセス展、詩人谷川俊太郎氏などによる詩の朗読の集い、児童文学書の作家兼編集者である松居直氏による講演会を開催します。十二月には絵本の原画展を開催します。この絵本の原画は、谷川俊太郎氏が絵本作家と共に作り上げたものであります。



7 農業振興支援センター設立準備の進捗状況について

農業振興支援センター設立準備のため、四月に設立委員会を設置し、協議・検討を進めていただきました。

農業振興支援センターの取扱業務、組織・運営体制、施設整備に関する設立委員会の検討結果としては、農業振興ビジョンで提言された農業振興支援センター構想が大きなものであり、一度に実現することは困難なため、実現可能なものから着手し、中・長期にわたる目標の設定などにより順次達成することとなっております。

設立当初の具体案としては、現在分散している農業関係機関・団体の業務を可能な範囲で一元化し、業務の合理化を推進するとともに、農家のための総合窓口を目指すこととし、ワンフロア化による共同・協力事業に取り組むという基本姿勢についても設立委員会で意見が一致しております。

また、農業振興支援センターの設立は平成十三年度当初とし、支援センターの場所は、当分の間、JA豊栄市葛塚支所の建物に増築して、そこを事務所にすることが適当であるとの結論に達しております。

そこで、市としては、設立委員会における検討結果を踏まえ、その施設整備に必要な経費について、このたびの補正予算に計上し、提案いたしました。

8 テニスコートなどの建設についで

テニスコートは、予定どおり工事が進んでおり、九月下旬に完成する予定です。また、屋内ゲートボール場は、十二月下旬に完成の見込みであり、それぞれ条例の一部改正を今定例会に提案するなど、市民に利用していただくための準備をしているところであります。

9 日蘭友好四〇〇周年記念写真展の開催について

市制施行三十周年記念事業の一つとして、「竹内敏信×マーティン・ケルス交写真真展 文化の鏡〜日本とオランダ〜



を十月一日から十一月三十日まで博物館とビュー福島潟を会場に開催します。この写真展は、日蘭友好四〇〇周年を記念して国内数か所とオランダで開催されます。特に、九月に東京都の銀座で開かれる写真展では、国際交流基金、写真家関係者の厚意により、豊栄市も主催者の一員となり、当市をPRすることができるようになりました。

なお、当市では、市民による実行委員会を組織し、十一月十九日にオランダ大使やマーティン・ケルス氏などを招き、シンポジウムの開催やオランダの食や文化を楽しみながら交流をする「オランダの夕べ」を企画しています。これを機に、オランダとの交流にも期待が寄せられております。

10 葛塚中学校建設事業について

文部省の新規事業である「コミュニティの拠点としての学校施設整備に関するパイロット・モデル研究」に葛塚中学校が全国八校の中の一校に採択され、七月に「地域の交流、学習の場としての学校施設の整備計画」を研究することについて委嘱を受けました。

これに基づき、学識経験者、関係機関の職員などで構成する「パイロット・モデル研究推進協議会」が組織され、第一回目の会議が八月十八日に開催されたところです。

今後、教育委員会では、当該推進協議会を四回開催するとともに先進地視

察を実施し、その研究成果を文部省に報告する予定としています。

また、このモデル研究の成果を基本設計に反映させていく考えであります。なお、基本設計については、八月十六日に安藤忠雄建築研究所と委託契約を締結いたしました。

11 駐在所の統合について

豊栄警察署長から、岡方地区にある長戸呂駐在所を三ツ森駐在所に統合する方針であるとの連絡を受けました。

統合の時期は、来年一月ころで、統合後「三ツ森駐在所」を「岡方駐在所」に名称を改めるとのことです。これに伴い、従来、三ツ森駐在所管内であった新井郷自治会の地域が早通駅前交番の管内になります。

豊栄警察署では、このことに係る地域住民への説明会を九月十六日に開催することとしています。

統合理由としては、豊栄警察署及び早通駅前交番の人員と同警察署管内の事件・事故の発生件数及び岡方地区の人口等を考慮して実施するものであるとの説明を受けております。

12 (仮称)羽越本線新幹線直通新潟地区期成同盟会の設立について

当市を含む県北地方振興促進協議会では、羽越本線の高速化を関係機関に

要望してきたところですが、今年四月に新潟・山形両県知事とJR東日本社長との間で、ミニ新幹線という手法で整備を行うことが合意されました。

これらの情勢を受け、山形県をはじめ関係団体と連携を強化しながら活動を行うため、(仮称)羽越本線新幹線直通新潟地区期成同盟会を設立することで関係市町村が合意いたしました。構成団体は、起点となる新潟市と県北地方振興促進協議会を構成する市町村で、事務局は新潟市に置く予定であります。

なお、期成同盟会の設立総会は十一月月上旬を目標に準備を進めることとしております。

13 豊栄郷清掃施設処理組合への住民監査請求について

この住民監査請求は、今年七月十八日に市民から当該組合の監査委員に対し請求のあったものですが、当市も当該組合の構成団体であるため、若干報告をするものです。

監査請求の要旨については、報道機関などの公表により、ご承知のことと思いますが、当該組合が平成七年二月六日から平成八年十二月三十一日までを工期として発注したごみ処理施設増設工事に関するものです。

当該組合では、九月二十八日に組合議員全員協議会を開催し、監査委員の請求に対する検討内容と結論を報告することとあります。